

## 農薬残留分析に強力な味方



写真1 質量分析計付高速液体クロマトグラフ (LC/MS/MS)

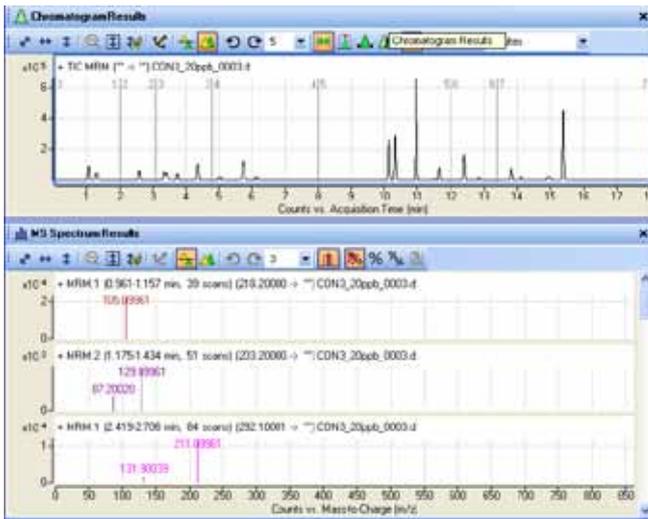


図1 測定画面



写真2 サンプル精製作業

当センターでは、農薬残留分析を強力にサポートする新しい機器 (LC/MS/MS ; 写真1) を導入しました。LC/MSは、厚生労働省告示の一斉試験法で定められた分析機器の1つです。

農薬管理担当では、農薬の登録データの作成や農産物の安全性確認のために農薬残留分析を実施していますが、その際、野菜や土壌中に含まれる成分が分析の妨害となることがあります。従来法 (LC) では、これらの妨害物質を完全に除去する必要があり、精製作業に数日～数

ヶ月を要しました。これに対し、LC/MS/MSでは、目的物質由来の質量を選択的に検出するため、簡単な精製だけで高感度分析 (ppbレベル ; 10億分の1) が可能となります (図1)。

この機器の導入により、これまで分析が困難で実施できなかった農薬の作物残留試験が可能となり、農薬登録データの作成が効率的に行えるようになりました。

(農薬管理担当 佐藤敦彦 088-863-4915)